

羊のまち士別 まちなか賑わい創出事業

～ 一過性を持続性に。だれもが参加しやすい「稼ぐ仕組み」づくり ～

士別市は自然を生かした豊かな観光資源や希少な国産羊肉をはじめとする多様な農畜産物を有しているものの、経済圏とし「旭川以北の全国的な認知度不足」と「急速な人口減少」が構造的な課題となり、経済的な活力が著しく低下していることに加え、「高速道路の延伸による人流の低下」が懸念されている。

このような課題を解決し、経済活性化を効果的に実現するには、北の目的地として「地域全体で稼ぐ仕組み」の構築を図ることが急務となる。

本事業では、まちなか交流プラザ(道の駅)を拠点とした、既存の市内で開催されている小規模イベントを集約し、地域の多様な参画による年間をとしたりレー形式のイベント開催の仕組みを構築することで「まちなかの賑わいを創出」します。

また、地域の参加者が自主的なイベントを容易に開催できる環境を整備することで、関わる全ての人たちが”収益”や”価値”を循環させる経済的メリットを継続的に創出します。併せて、認知度向上、地域ブランドの確立を実施することが交流人口の増加を生み出し、市内消費、地産地消の拡大による地域経済活性化をめざします。

【賑わい創出の課題】

旭川市以北の全国的な認知度不足

急速な人口減少と経済活力の低下

高速道路の延伸による人流の低下懸念

【課題の解決にむけて】

一過性の小規模イベントを拠点に集約

出店環境整備により、地域の多様な参画を促進

交流プラザ(道の駅)を中心とした情報発信

【いままでの取り組み（イベント）】

年に1回決まった日の開催

集客が天候に左右される

市内产品中心の市民還元

「持続的にいつでも・だれもが参加しやすい仕組み」として、賑わいJUNKANリレーを構築

JUNKANリレーのイメージ

春



道の駅イベント

改善策を検討。次年度へ。

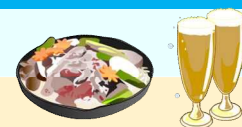
道の駅イベント

冬



夏

道の駅イベント



道の駅イベント



秋

核となる「道の駅イベント」と間をつなぐ自主的な催しを一体的にPRすることで年間を通して推進。

【多様な主体の参加（例）】

JA

個人

企業

行政

まちづくり会社

観光関係団体

めん羊振興団体

農業関係団体

市内高校生

商店街振興団体

商工会議所・商工会

【さまざまな催し（例）】

- ・旬の農産物販売
- ・加工品販売
- ・商店街連携催事
- ・趣味を生かした交流
- ・人の交流 など

羊のまち士別 まちなか賑わい創出事業

【具体的な取り組み①】
情報発信の強化による認知度向上

新規パンフレット作成、広告・PRグッズ、
動画製作、動画プロモーション、多様なメディア活用

【具体的な取り組み②】
賑わい拠点機能の整備

出店環境の整備、羊にちなんだエアー遊具、
PRキャラクター関連遊具

【具体的な取り組み③】
「お試し事業」の展開

出店者応援クーポン、お試しイベント、お試し誘客ツアー
空き店舗への誘導、新たな出店者の発掘

【具体的な取り組み④】
自立運営の仕組みを構築

出店者マニュアル作成、出店受付・情報発信体制整備
施設使用料徴収基準の整備、事業運営体制の構築

【評価指標（KPI）】

KPI①：まちなか交流プラザの来館者数

【基準年（R6）：266,578人】 ⇒⇒ 【目標年（R11）： 275,000人】

KPI②：まちなか交流プラザの活用件数

【基準年（R6）： 0件】 ⇒⇒ 【目標年（R11）： 70件】

KPI③：まちなか交流プラザ活用者売上額

【基準年（R6）： 0円】 ⇒⇒ 【目標年（R11）：1,400,000円】

1. 情報発信力強化と認知度向上



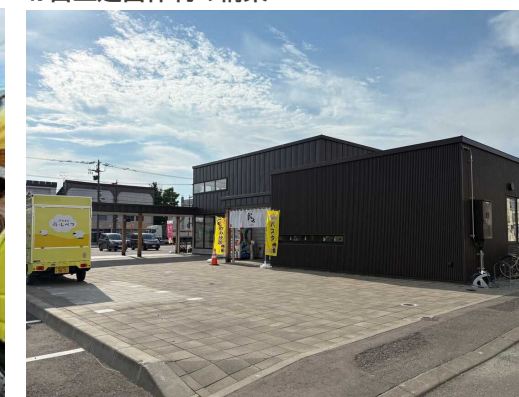
2. 賑わい拠点の魅力強化



3. お試し事業の展開



4. 自立運営体制の構築



地方創生2.0交付金の活用予定(R8～R10)

令和8年度 18,600千円

情報発信の強化 12,500千円
賑わい拠点機能整備 4,000千円
「お試し事業」の展開 2,100千円

令和9年度 15,600千円

情報発信の強化 10,100千円
賑わい拠点機能整備 2,000千円
「お試し事業」の展開 3,500千円

令和10年度 7,500千円

情報発信の強化 3,600千円
「お試し事業」の展開 3,900千円

【事業推進の体制】

評価指標に対する効果検証は士別市振興審議会において実施し、事業全体の評価を行う。
また、賑わいJUNKANリレーによるまちなか交流プラザを活用した地産地消の推進と消費行動を通じた交流による賑わいの創出を目的として、「賑わいJUNKANプロジェクト」を新たに設置し、地産地消や自主的・主体的な参画について意見交換を行う。



交流プラザ来館者数

交流プラザ活用件数

交流プラザ活用者売上

【効果検証】
士別市振興審議会

情報発信の強化

賑わい拠点機能整備

「お試し事業」の展開

自立運営の仕組みを構築

【意見交換】

賑わいJUNKANプロジェクト（20名以内の市民で構成）